

夏の教材制作実技講習会の報告

研修部

今年も70名が参加して、「象の会」朝井、内藤、松永三先生をお迎えしての実技講習会が開かれました。

本年度、午前の部は実際の教材を前に「ものづくり」の大切さを子どもたちの発達に即してお話いただきました。午後の部は参加者の希望に合わせての教材づくりです。

今年の教材は、人気の「パタパタ」。すばらしい絵を数種用意していただきました。2種、3種と希望された方が多かったです。「数字の歌」も毎回の人気作品です。「毎日使ってボロボロになったので作り直したい」と参加された方もありました。「メロディ帰還車」は、初のお目見えです。移動する力の弱い子どもたちに「行って帰ってくるおもちゃを」と考案されたものです。バランスをとるのが難しく、またハンダ付けなど工作にも苦労があったようです。「数字はかせ」は20までの数の数唱、合成・分解、加減などを音、光、手の操作を伴ってしようという作品です。マイコンを使ったおもちゃは今後増えていくのではないのでしょうか。

予定時間を過ぎても熱心に製作を続けた実技講習会でした。「来年はこんな作品を」という希望もたくさん出されています。

象の会のホームページにて作品が見られます。

<http://www15.ocn.ne.jp/~zounokai/>

